

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	林道舗装事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	林務課		包含する細々目	1	6	2	2	20	1	23,041
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	森林・林業基本法、伊那谷地域森林計画、地域再生計画						
		事業期間	7	年度～	27							年度
						関連計画条列等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	未舗装の林道(松川入線)	林道松川入線舗装全体計画延長(m)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			9750			
		現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	林道松川入線を舗装する 林道沿線の森林整備が推進する	舗装実施済延長(累計)/林道舗装全体計画延長(%)	18目標	90	最終目標	
			18実績	89	19目標	100
			23目標	93	23実績	
		林道利用区域内の森林整備面積(ha)	18目標	100	最終目標	
			18実績	66	19目標	100
23目標			100	23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	林道を舗装することにより森林整備や治山事業の輸送力の増強と、通行の安全確保を図る	林道舗装 松川入線L=1,869m(871+998)、W=4.0m	林道舗装延長(m)	1869(871+998)
		H19林道舗装 松川入線L=1,000m、W=4.0m	林道舗装延長(m)	1000m

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金	11,520	11,520
	県支出金	115	115
	起債	10,200	10,200
	その他		
	一般財源	1,206	1,206
事業費計(A)		23,041	23,041
人件費	正規職員所要時間	18年度 180	19年度
	臨時職員等所要時間	8	
	人件費計(B)	652	0
	トータルコストA+B	23,693	23,041

特定財源内訳や補足事項
H16農林漁業用揮発油税財源身替林道整備事業(国1/2、県0.5/100) 一般公共事業債
H17から道整備交付金(国1/2、県0.5/100) 一般公共事業債

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	林業生産額(億円)	現状値	7	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	7.5
	経済的自立度(%)		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	60	

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>森林整備や飯田市の水源でもある松川入地区の荒地復旧治山事業を円滑に推進するために平成7年度から事業着手した。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>復旧治山事業の工事車両の輸送力の増強と通行の安全確保が図られるようになった。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>市民の水がめである松川の清流の保全や国が進める民有林直轄治山事業の推進に森林所有者のみならず市民や議会、南信森林管理署から要望がある。</p>
---	--	---

【See】18年度の振り返り

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>松川入地区の森林整備が進むと同時に通行の安全確保が図られる。</p>	<p>有効性 評価</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がある (その理由)</p> <p>事業を最小、低コストで実施しているが、更なる見直しが必要である。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>飯田市の水源である松川入地区の森林整備をさらに進めるため</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>森林の荒廃が進むと市民生活環境に影響を及ぼす。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>森林整備と治山事業の推進にはその唯一の進入路である松川入線の輸送力向上が欠かせない</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>森林機能の増進のため、森林林業基本法ではその施策を講じる責務があると明記されている。</p>		<p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 可能 (その理由)</p> <p>工事コスト縮減や工法の再検討があげられる。</p>
			<p>効率性 評価</p>	<p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 可能 (その理由)</p> <p>工事コスト縮減や工法の再検討があげられる。</p>
			<p>公平性 評価</p>	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>木材搬出、労働者輸送の効率化、安全性が図られる。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 ➡</p> <p>具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>さらに工事コストの縮減を図り、環境にやさしい道づくりを進める。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>戦後に開設した林道のため、幅員確保と法面保護を改良して施工すると施工延長が伸びない。</p>

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がある</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>	<p>2- その他、必要が生じたとき</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	<p>既設幅員以上の舗装を避け、地山の保護に努めた。</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	